

部課名		選挙管理委員会事務局											
課の使命		○有権者のみならず、関係する人すべてに対する公平・公正な選挙の管理執行及び投票しやすい環境整備を行います。 ○投票意識の高揚をはかるため、明るい選挙推進委員等と連携し、効果的な啓発を実施します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括		目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点
1	個別 計画	公平・公正な 選挙執行体制 の確立	①投票管理者及び投票立会人の意識・知識向上に向けた研修を実施します。 ②近隣市との選挙事務の包括連携協定等に基づき期日前投票の実地研修を実施します。 ③選挙管理委員会事務局職員の能力を向上させるため、局内において研修会を実施します。	①投票管理者及び投票立会人への研修実施回数 ②他市選管との研修実施回数 ③研修会の実施回数	①2回 ②1回 ③5回	○	①新規に加入した明るい選挙推進委員に対して、投票立会人の研修を実施しました。また、投票日当日の投票管理者への研修を実施しました。 ②都知事選挙の期日前投票及び開票について、相模原市職員延べ31人の実地研修を実施しました。 ③下半期に実施します。	①②次回の選挙に向けて研修内容を検証します。 ③事務局職員の能力を向上させるため、局内において研修会を実施します。	①投票管理者及び投票立会人に対して、研修を実施しました。特に、投票日当日の投票管理者向けの研修は、2019年以降の開催となり、投票管理者として必要な意識・知識の向上を図りました。 ②都知事選挙においては、相模原市との協定に基づき、当該市職員の実地研修を行い、選挙事務を円滑に執行することが出来ました。 ③八王子市職員との合同研修会を1回実施し、次回の選挙を見据えた選挙執行体制や、事務負担の軽減に関する意見交換を行いました。また異動して1年目の職員に対する局内研修会を1回、東京都主催の研修会に5回参加し、知識の習得に努めました。	①2回 ②1回 ③7回	C	C:目標水準を達成したためです。	公平・公正な選挙執行体制を確立していくため、投票管理者や職員等への研修を、継続的に実施していきます。
2	個別 計画	東京都知事に 選挙における円 滑な選挙の実 行	①業務の進捗管理を徹底し、効率的に取り組みます。 ②東京都知事選挙(以下、都知事選)において、有権者に対して開票結果を迅速に公表します。	①時間外勤務時間数(1人あたり年度平均) ②開票に要する時間	①73時間 (2020年度比 30%減) ②1時間53分 (2020年度比 5%減)	△	①都知事選挙における1人あたりの時間外勤務時間数は164時間でした。立候補者数が想定を大幅に超えたこと等により、前回の都知事選挙に比べ58%増加しました。 ②都知事選挙における開票に要した時間は2時間55分でした。立候補者数が想定を大幅に超えたことにより、前回の都知事選挙に比べ47%増加しました。	①②今後の選挙に向けて時間を短縮できるような課題を整理します。	①都知事選挙における1人あたりの時間外勤務時間数は164時間となり、前回の都知事選挙に比べ58%増加しました。時間外勤務時間数削減のために、選挙準備期間中の併任職員による応援体制や業務分担等について検討しました。 ②都知事選挙における開票に要した時間は2時間55分となり、前回の都知事選挙に比べ47%増加しました。時間外勤務時間数削減のために、開票所における人員配置や作業効率向上等について検討しました。	①164時間 ②2時間55分	D	D:取り組みましたが、成果が不十分であるためです。	①時間外勤務時間数削減のための体制づくりについて、関係部署と協議を進めていきます。 ②時間短縮できるよう、人員配置や作業内容を見直していきます。
3	個別 計画	投票環境の充 実に向けた取 組み	市民の投票機会及び利便性の向上を図るために検討会を実施します。	検討会の実施回数	3回	○	都知事選挙に向けての検討会を1回、課題に関する検討会を1回、計2回実施しました。	引き続き、市民の投票機会及び利便性の向上を図るための検討を進めます。	都知事選挙前に1回、都知事選挙後に投票方法の周知や投票所の利便性向上のための検討会を2回、計3回実施しました。	3回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き市民の投票機会及び利便性の向上を図るための検討を進めていきます。

順位	計画 類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
4	個別 計画	若年層及び障 がい者への投 票行動につな がる啓発の実 施	①若年層等と連携し、SNS、ホームページ等を活用した啓発を実施します。 ②2023年度新たに構築した内容による、若年層及び障がい者等への選挙出前講座等の啓発を実施します。	①若年層と行う啓発の実 施回数 ②若年層及び障がい者 へ行う講座の実施回数	①1回 ②60回	○	①大学生と協力し、新有権者となった18歳の方に送るパスデーカードのデザインを検討しました。また、都知事選挙においては、街頭啓発を実施し、その様子をSNSにアップしました。 ②市内の小・中・高等学校に対して出前講座の案内を送付し、選挙の講義や模擬投票、選挙器材の貸出等を29回実施しました。	①引き続き、若年層と連携した啓発活動に取り組みます。 ②引き続き、出前講座や庁舎見学時の模擬投票等を実施します。	①選挙に対する関心の向上を図るための啓発として、大学生等と協力し、18歳の方に送るパスデーカードのデザインを刷新しました。また、都知事選挙では、若年層に参加してもらい、街頭啓発を実施しました。 ②市内の学校及び福祉施設に対して、出前講座や模擬投票、選挙器材の貸出等を実施し、主権者教育に取り組みました。また、高校においては、グループワークを行う参加型出前講座を初めて実施し、好評を得ました。	①2回 ②62回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、若年層を対象にした啓発活動を実施していきます。
5	事務 事業 見直 し	明るい選挙推 進委員研修会 (しろばら講 座)への謝礼 に関する検討	明るい選挙推進委員研修会(しろばら講座)への謝礼について、今後の在り方を検討します。	検討会の実施回数	2回	○	他市の状況を調査し、今後の在り方を検討しました。	引き続き、検討を重ねます。	活動の更なる充実を図るため、明るい選挙推進委員研修会(しろばら講座)における謝礼の必要性を再確認しました。	2回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き必要な事務の見直しを実施していきます。
6	事務 事業 見直 し	「交際費」に 関する検討	「交際費」について、今後の在り方を検討します。	検討会の実施回数	2回	○	他市の状況を調査し、今後の在り方を検討しました。	引き続き、検討を重ねます。	他市の状況を踏まえて、使途を整理しました。	2回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き必要な事務の見直しを実施していきます。